

《彼岸花》ハイキング紀行

令和 7 年 10 月 吉日

26 期 高橋 喜久男

過ぎる令和 7 年 9 月 26 日（金）に、文化学科 A のクラス仲間達(10 人)と半田市にある新美南吉の里・彼岸花ハイキングに出かけて来ました。

当日は、真夏を思わせる酷暑となりハイキングするには、かなり過酷すぎるような天気と成りました。事前に酷暑の中を歩く事になるので、日傘などで、日焼け対策をするように連絡してありましたので、全ての人が、日傘や帽子などの対策をしてきましたので、堤防を躊躇なく歩く事が出来ました。

まず、名鉄半田口駅から歩いて 10 分程の所に童話作家で有名な新美南吉の生家があり、更に近くの神社を参拝してから 10 分程歩くと矢勝川堤防に出ました。

ここに、本来ならこの一帯に約 300 万本の彼岸花が鮮やかに咲き誇っているのですが、本日は、残念ながら咲いてはいるが、まばらで、綺麗に一連の彼岸花を見ることが出来ませんでした。全体的には、10%程度でした。去年もほぼこの時期にきたのですが、やはりまばらで、殆どさいていなかった状況でした。

咲き誇っている場所を求めながら堤防に沿って歩きを進めました。40 分程、足を進めると、新美南吉の記念館に出ました。お昼時間になっていましたので、この公園内ある休憩所で、昼食とトイレ休憩としました。

昼食後、記念館を見学したいグループと、公園内を散策するグループに分かれました。

私は、何回も見学している事もあり、公園内を散策するグループに入って少し、山側の森林が立ち並ぶ方向へ入って散策しました。一時間後に集合写真を撮りました。

来年度は、一週間程、遅くして、近くの権現山（≒80m）を登ってから彼岸花を見る事にしました。



天皇陛下と皇后陛下が立ち寄った時に建てられた記念石碑の前での集合写真